

平成31年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	4. 職員研修事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	2. 人事管理費	担当所属	人事課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第6章	ともに生き、支え合うまちづくり	5年間計画額	
経常	単独	計画	0	0	7,460		基本施策6	行財政運営の適正化	平成28年度	-
									平成29年度	-
									平成30年度	-
									平成31年度	-
						施策2	職員研修の充実と活力ある職場風土の形成を図ります	平成32年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	234	
本年度当初査定額	234	9,806

財源内訳	諸収入						その他	一般財源
本年度当初要求額	0						234	△234
本年度当初査定額	234						0	9,572

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・「佐倉市人材育成の基本方針」に基づき、各種研修を充実させ実行します</p> <p>・職場外研修(研修担当課主催研修・派遣研修)を実施し、職場研修、自己啓発を推進します。</p>	<p>(事業の目的) 職員の仕事に関する知識、技術、対人能力、課題発見・解決能力などの向上を目的とし、時代の変化に的確に対応できる人材の育成を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 満足度の高い、内容の充実した職員研修を実施することによって、職員の能力アップが図られ、問題解決能力や政策形成能力などの充実が期待できます。また、広い視野と豊かな見識を持ち、市民のニーズを的確に捉え、敏感に対応できる職員の育成により、柔軟で弾力的な組織づくりが可能となります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 市民ニーズの複雑多様化により、高度な事務執行能力が求められてきており、職員研修の内容の選定に、より注意を払わなければならないようになってきております。</p> <p>また、階層別で研修を行っているものの、短時間で均一な能力アップを図ることは難しいものとなっています。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見直しについての特記事項) 社会の新たなニーズを的確にとらえ、時代の要求する公務員像を実現するために、随時研修内容を十分精査していく必要があります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	150	300	△150
09	1,321	1,321	0
11	133	163	△30
12	28	28	0
13	5,580	4,500	1,080
16	16	16	0
19	2,578	2,700	△122

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	21	05	04	01	10	04	市町村職員中央研修所研修生派遣経費助成金	234	234	270	△36
差引一般財源								△234	9,572	△270	9,842